

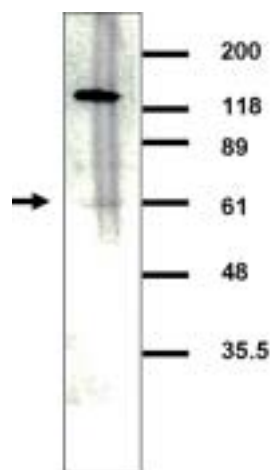
肥満・メタボリックシンドローム関連抗体
抗 ヒト PPAR α ポリクローナル抗体

ペルオキシソーム増殖薬応答性受容体 (peroxisome proliferators-activated receptors: PPARs) は殆どの脊椎移動物において発現している核内受容体であり、炭化水素、脂質、タンパク質等の細胞内代謝と細胞の分化に密接に関連している転写因子群です。

PPARのサブタイプであるPPAR α は、 α 2遺伝子の脂肪酸特異的エンハンサーに結合する因子として同定されました。選択的プロモーターの使用および選択的スプライシングにより3種類のアイソフォーム、PPAR1, PPAR2, PPAR3が存在します。PPAR1は多くの組織で発現し、PPAR2は脂肪組織特異的に発現し、PPAR3はマクロファージ、大腸、白色脂肪組織に発現することが判っています。

PPAR α は、脂肪細胞分化及びエネルギー貯蔵において必須であり(参考文献1)、最近では糖尿病改善薬チアゾリジン誘導体の標的因子として注目されています(参考文献2)。

容量	100 μ g (400 μ L/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2% ブロックエース(安定化蛋白)、0.1% proclin 含有]
保管方法	-20℃以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4℃で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	ヒトPPAR α のC末端側部分ペプチドを免疫したウサギの抗血清より、 ペプチドアフィニティカラムにて精製
使用濃度	ウェスタンブロットティング: 1.0 μ g/ml



ウェスタンブロットティング

Sample: マウス脂肪 抽出タンパク

肥満・メタボリックシンドローム関連抗体
抗 ヒト PPAR γ ポリクローナル抗体

【参考文献】

- 1 Auwerx J. et al.:
PPAR-gamma: a thrifty transcription factor. Nucl Recept Signal. 2003;1:e006.
Nucl Recept Signal. 2003;1:e006.
- 2 Kubota N. et al. :
PPAR gamma mediates high-fat diet-induced adipocyte hypertrophy and insulin resistance.
Mol Cell. 1999 Oct;4(4):597-609.

製造元

 **株式会社トランスジェニック**

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp